



**Hewlett Packard**  
Enterprise

# HPE サーバー製品 タワー型サーバー用オプション編 システム構成図

2024 年 12 月 12 日



# 目次

## サーバー製品 タワー型サーバー用オプション編

---

### 構成ツリー

・キーボード、マウス、モニター、コンソールスイッチ .....	3
・UPS .....	4
- UPS 本体 .....	4
- UPS バッテリ持続時間目安表 .....	8
- UPS 管理ソフトウェア・ツール .....	9
・サポート サービス .....	13

# サーバー製品 システム構成図 (タワー型サーバー用オプション編)

\*各 Linux ディストリビューション使用時の構成、注意事項については、Linux 構成だけの例外事項等もありますので、詳細は日本ヒューレット・パッカートの Linux ホーム ページ (<http://www.hpe.com/jp/linux>)の「ハードウェア」の項目を参照してください。

## キーボード、マウス、モニター、コンソールスイッチ



### モニター

※HPE での HPI 製モニターの取り扱いは終了いたしました。  
HPI 製品を含め、他社製品を調達していただくことになります。  
その際、ProLiant に接続可能な VGA 入力可能なモニター製品を選択ください。  
(一部のサーバーでは Display Port 接続も可能です。)

◆HPI (株式会社日本 HP) 製品を含め、他社製品のモニター製品の保証は、サーバー製品本体用のハードウェア保守のサービス範囲に含まれません。

### キーボード / マウス キット

USB  
インターフェイス  
接続

USB 日本語版キーボード/マウスキット  
631360-B21 3,000 円 (税抜価格)

\* 在庫限定  
\* USB 日本語版(109A)キーボードと USB 光学式マウス(各 1 個)

### コンソールスイッチ

※デスクトップ環境向けコンソールスイッチ製品については、ラックマウント型コンソールスイッチ製品をご利用ください。詳細はサーバー製品ラック オプション編 システム構成図を参照ください。

電源(UPS)



\* 各 UPS 接続時間の目安および UPS 管理ツールについては、4 頁先以降を参照してください。

各パワーサプライ

100V 仕様

UPS T750 G5  
Q1F47A 54,000 円 (税抜価格)

- \* 750VA/500W (定格入力電圧 AC100V 入力)
- \* マスタ セグメント×1、負荷セグメント×2
- \* 本体に 8 個のコンセントを提供(NEMA 5-15R×8)
- \* サーバーとの通信に USB 接続/シリアル接続/ネットワーク接続(オプション) をサポート
- \* シリアル ケーブル(1.27m)、USB ケーブル(1.83m) 各 1 本標準添付
- \* 入力電力コード : NEMA 5-15P プラグ

UPS ネットワーク マネージメント モジュール  
Q1C17A 39,000 円 (税抜価格)

- \* UPS 管理ソフトウェアが組み込まれたオプションカード
- \* マネージメント サーバーの役割をすることで、マネージメント サーバーが不要
- \* LAN 経由で UPS の設定、監視、管理が可能
- \* UPS とサーバーとの接続は LAN 経由でのみ可能
- \* 2 台の UPS の冗長化が可能
- \* LAN 接続用 RJ-45 ポート×1、ローカル設定用 USB ポート×1 を装備
- \* ローカル設定 USB ポート接続用に USB ケーブル(1.5m)1 本が標準添付
- \* LAN 接続用に RJ-45 ケーブル 1 本が別途必要
- \* 最大 35 台のサーバー(HPEPP Client)を管理できます。

100V 仕様

UPS T1000 G5  
Q1F49A 71,000 円 (税抜価格)

- \* 1000VA/680W (定格入力電圧 AC100V)
- \* マスタ セグメント×1、負荷セグメント×2
- \* 本体に 8 個のコンセントを提供(NEMA 5-15R×8)
- \* サーバーとの通信に USB 接続/シリアル接続/ネットワーク接続(オプション) をサポート
- \* シリアル ケーブル(1.27m)、USB ケーブル(1.83m) 各 1 本標準添付
- \* 入力電力コード : NEMA 5-15P プラグ

100V 仕様

UPS T1500 G5  
Q1F51A 82,000 円 (税抜価格)

- \* 1200VA/980W (定格入力電圧 AC100V)
- \* マスタ セグメント×1、負荷セグメント×2
- \* 本体に 8 個のコンセントを提供(NEMA 5-15R×8)
- \* サーバーとの通信に USB 接続/シリアル接続/ネットワーク接続(オプション) をサポート
- \* シリアル ケーブル(1.27m)、USB ケーブル(1.83m) 各 1 本標準添付
- \* 入力電力コード : NEMA 5-15P プラグ
- \* 日本国内では、ファームウェア バージョン 01.04.0006 以降で使用してください。



UPS T750 G5  
UPS T1000 G5  
UPS T1500 G5  
入力電源プラグ形状  
【NEMA 5-15P】

◆上記 UPS 製品はすべて AC100V 仕様です。AC200V の入力はサポートしていません。  
 タワー型 UPS G5 モデルでは、出荷時基準電圧は 120V 設定のため、日本国内では、基準電圧を 100V 設定にして使用ください。  
 ◆UPS のバッテリー持続時間については、後述の UPS バッテリー持続時間目安表を参照してください。  
 ◆使用する UPS やオプションによって利用できる UPS 管理ソフトウェアが異なり、機能が異なります。  
 各 UPS 管理ソフトウェアの機能、制限、対応 OS などについては、後述の管理ソフトウェアの項目を参照してください。  
 ◆UPS ネットワーク マネージメント モジュールには、UPS 管理ソフトウェアが組み込まれているため、UPS 管理用のマネージメント サーバーは不要です。UPS に接続するサーバーには、クライアント ソフトウェアをインストールします。  
 ◆UPS ネットワーク マネージメント モジュールは、UPS とサーバーとの接続がネットワーク経由のみになるため、停電発生時でもネットワークを継続して使用できる環境が必要です。

\* 各 UPS 接続時間の目安および UPS 管理ツールについては、3 頁先以降を参照してください。

### 100V 仕様

UPS R/T2200 G5 (2U)  
Q1L84A 141,000 円 (税抜価格)

- \* 1500VA/1400W (定格入力電圧 AC100V、入力プラグ NEMA 5-20P)
- \* マスタ セグメント×1、負荷セグメント×2
- \* 本体に 8 個のコンセントを提供 (NEMA 5-15/20R×8)
- \* サーバーとの通信に USB 接続/シリアル接続/ネットワーク接続(オプション) をサポート
- \* シリアルケーブル(1.27m)、USB ケーブル(1.83m) 各 1 本標準添付
- \* オプション スロット×1 スロット装備
- \* 長さ調節可能なラックマウント レールキット標準添付
- \* タワー型に変換可能



UPS R/T2200 G5  
入力電源プラグ形状  
【NEMA 5-20P】

RT2200 拡張ランタイムモジュール  
J2R09A 149,000 円 (税抜価格)

- \* 追加バッテリー モジュール
- \* 最大 4 台まで接続可能 (2 台までの接続を推奨)
- \* 長さ調節可能なラックマウント レールキット標準添付
- \* 添付される専用ブラケットを使用して R/T2200 G5 本体に結合することにより、本体と同時にタワー型に変換して使用可能

UPS ネットワーク マネージメント モジュール  
Q1C17A 39,000 円 (税抜価格)

- \* UPS 管理ソフトウェアが組み込まれたオプション カード
- \* マネージメント サーバーの役割をするのでマネージメント サーバーが不要
- \* LAN 経由で UPS の設定、監視、管理が可能
- \* UPS とサーバーとの接続は LAN 経由でのみ可能
- \* 2 台の UPS の冗長化が可能
- \* LAN 接続用 RJ-45 ポート×1、ローカル設定用 USB ポート×1 を装備
- \* ローカル設定 USB ポート接続用に USB ケーブル(1.5m)1 本が標準添付
- \* LAN 接続用に RJ-45 ケーブル 1 本が別途必要
- \* 最大 35 台のサーバー(HPEPP Client)を管理できます。

- ◆R/T2200 G5 は AC100V 仕様です。AC200V の入力はサポートしていません。
- ◆R/T2200 G5 において、パワー ディストリビューション ユニットへの機器の接続する場合は、各セグメント最大出力電流および定格入力電流を越えないように配線してください。
- ◆UPS のバッテリー持続時間については、後述の UPS バッテリー持続時間目安表を参照してください。
- ◆使用する UPS やオプションによって利用できる UPS 管理ソフトウェアが異なり、機能が異なります。各 UPS 管理ソフトウェアの機能、制限、対応 OS などについては、後述の管理ソフトウェアの項目を参照してください。
- ◆UPS ネットワーク マネージメント モジュールには、UPS 管理ソフトウェアが組み込まれているため、UPS 管理用のマネージメント サーバーは不要です。UPS に接続するサーバーには、クライアント ソフトウェアをインストールします。
- ◆UPS ネットワーク マネージメント モジュールは、UPS とサーバーとの接続がネットワーク経由のみになるため、停電発生時でもネットワークを継続して使用できる環境が必要です。

\* 各 UPS 接続時間の目安および UPS 管理ツールについては、2 頁先以降を参照してください。

100V 仕様

UPS R/T3000 G5 (100V) (2U)  
Q1L85A 204,000 円 (税抜価格)

- \* 2490VA/2250W (定格入力電圧 AC100V、  
入力プラグ NEMA L5-30P)
- \* マスタ セグメント×1、負荷セグメント×2
- \* 本体に 7 個のコンセントを提供  
(NEMA 5-15/20R×6、NEMA L5-30R×1)
- \* サーバーとの通信に USB 接続/シリアル接続/  
ネットワーク接続(オプション)をサポート
- \* シリアルケーブル(1.27m)、USB ケーブル(1.83m)  
各 1 本標準添付
- \* オプション スロット×1 スロット装備
- \* 長さ調節可能なラックマウント レールキット  
標準添付
- \* タワー型に変換可能

RT3000 拡張ランタイムモジュール (2U)  
J2R10A 209,000 円 (税抜価格)

- \* 追加バッテリー モジュール
- \* 最大 4 台まで接続可能 (2 台までの接続を推奨)
- \* 長さ調節可能なラックマウント レールキット標準添付
- \* 添付される専用ブラケットを使用して R/T3000 G5 本体に結合  
することにより、本体と同時にタワー型に変換して使用可能

UPS ネットワーク マネージメント モジュール  
Q1C17A 39,000 円 (税抜価格)

- \* UPS 管理ソフトウェアが組み込まれたオプション カード
- \* マネージメント サーバーの役割をするのでマネージメント サーバーが不要
- \* LAN 経由で UPS の設定、監視、管理が可能
- \* UPS とサーバーとの接続は LAN 経由でのみ可能
- \* 2 台の UPS の冗長化が可能
- \* LAN 接続用 RJ-45 ポート×1、ローカル設定用 USB ポート×1 を装備
- \* ローカル設定 USB ポート接続用に USB ケーブル(1.5m)1 本が標準添付
- \* LAN 接続用に RJ-45 ケーブル 1 本が別途必要
- \* 最大 35 台のサーバー(HPEPP Client)を管理できます。



UPS R/T3000 G5 (100V)の入力電源プラグの形状  
ツイストロック コネクター【NEMA L5-30P】  
(NEMA L6-30P と NEMA L5-30P は  
プラグの大きさが異なります)

- ◆製品管理上の都合により、当面の間 PDU およびロック機能付き電源ケーブルの取り扱いを停止中です。  
ロック機能の無いスタンダードの電源ケーブルをご検討ください。PDU につきましては、他社製品をご検討ください。
- ◆R/T3000 G5(100V)は AC100V 仕様です。AC200V の入力はサポートしていません。
- ◆R/T3000 G5(100V)において、パワー ディストリビューション ユニットへの機器の接続する場合は、各セグメント最大出力電流および  
定格入力電流を越えないように配線してください。
- ◆UPS のバッテリー持続時間については、後述の UPS バッテリー持続時間目安表を参照してください。
- ◆使用する UPS やオプションによって利用できる UPS 管理ソフトウェアが異なり、機能が異なります。
- ◆各 UPS 管理ソフトウェアの機能、制限、対応 OS などについては、後述の管理ソフトウェアの項目を参照してください。
- ◆UPS ネットワーク マネージメント モジュールには、UPS 管理ソフトウェアが組み込まれているため、UPS 管理用のマネージメント サーバーは  
不要です。UPS に接続するサーバーには、クライアント ソフトウェアをインストールします。
- ◆UPS ネットワーク マネージメント モジュールは、UPS とサーバーとの接続がネットワーク経由のみになるため、停電発生時でもネットワークを  
継続して使用できる環境が必要です。

**200V仕様 \*各UPS接続時間の目安およびUPS管理ツールについては、次頁以降を参照してください。**

UPS R/T3000 G5 (200V) (2U)  
Q1L86A 226,000 円 (税抜価格)

- \* 2490VA/2241W (定格入力電圧 AC200V、入力プラグ NEMA L6-20P)
- \* マスタ セグメント×1、負荷セグメント×2
- \* 本体に9個のコンセントを提供 (IEC320 C13×8、IEC320 C19×1)
- \* 電源コード 16A IEC320 C19-20 : 2m×1本が付属  
電源コードが不足の場合はオプションの電源コードを追加してください。
- \* サーバーとの通信に USB 接続/シリアル接続/ネットワーク接続(オプション) をサポート
- \* シリアルケーブル(1.27m)、USB ケーブル(1.83m) 各1本標準添付
- \* オプション スロット×1スロット装備
- \* 長さ調節可能なラックマウント レール キット標準添付
- \* タワー型に変換可能

RT3000 拡張ランタイムモジュール (2U)  
J2R10A 209,000 円 (税抜価格)

- \* 追加バッテリー モジュール
- \* 最大4台まで接続可能 (2台までの接続を推奨)
- \* 長さ調節可能なラックマウント レール キット標準添付
- \* 添付される専用ブラケットを使用して R/T3000 G5 本体に結合することにより、本体と同時にタワー型に変換して使用可能

UPS ネットワーク マネージメント モジュール  
Q1C17A 39,000 円 (税抜価格)

- \* UPS 管理ソフトウェアが組み込まれたオプション カード
- \* マネージメント サーバーの役割をするのでマネージメント サーバーが不要
- \* LAN 経由で UPS の設定、監視、管理が可能
- \* UPS とサーバーとの接続は LAN 経由でのみ可能
- \* 2台のUPSの冗長化が可能
- \* LAN 接続用 RJ-45 ポート×1、ローカル設定用 USB ポート×1 を装備
- \* ローカル設定 USB ポート接続用に USB ケーブル(1.5m)1本が標準添付
- \* LAN 接続用に RJ-45 ケーブル 1本が別途必要
- \* 最大35台のサーバー(HPEPP Client)を管理できます。



左図 : UPS R/T3000 G5 (200V) の  
入力電源プラグの形状  
ツイストロック コネクター  
【NEMA L6-20P】

オプションの電源コード

200V 用 C13-14 電源ケーブル		
4.5 フィート(1.35m)、ブラック	142257-006	2,000 円
2m、ブラック	A0K02A	2,000 円
2m、グレー	AF573A	3,000 円
10 フィート(3m)、ブラック	142257-003	2,000 円
200V 用 C19-C20 電源ケーブル		
1.2m、グレー	AF575A	5,000 円
2m、グレー	AF574A	4,000 円
2.5m、ブラック	295633-B22	2,000 円

\* この表内の価格は税抜価格です。

- ◆製品管理上の都合により、当面の間 PDU およびロック機能付き電源ケーブルの取り扱いを停止中です。  
ロック機能の無いスタンダードの電源ケーブルをご検討ください。PDU につきましては、他社製品をご検討ください。
- ◆UPS R/T3000 G5(200V)は AC200V 仕様です。AC100V の入力はサポートしていません。
- ◆パワー ディストリビューション ユニットへの機器の接続は、各セグメント最大出力電流および定格入力電流を越えないように配線してください。
- ◆UPS のバッテリー持続時間については、後述の UPS バッテリー持続時間目安表を参照してください。
- ◆使用する UPS やオプションによって利用できる UPS 管理ソフトウェアが異なり、機能が異なります。  
各 UPS 管理ソフトウェアの機能、制限、対応 OS などについては、後述の管理ソフトウェアの項目を参照してください。
- ◆UPS ネットワーク マネージメント モジュールには、UPS 管理ソフトウェアが組み込まれているため、UPS 管理用のマネージメント サーバーは不要です。UPS に接続するサーバーには、クライアント ソフトウェアをインストールします。
- ◆UPS ネットワーク マネージメント モジュールは、UPS とサーバーとの接続がネットワーク経由のみになるため、停電発生時でもネットワークを継続して使用できる環境が必要です。

UPS バッテリ持続時間目安表

- ◆ バッテリ持続時間目安表の単位は分です。
- ◆ ERM(Extended Runtime Module) : 拡張ランタイム モジュール
- ◆ バッテリの持続時間はおよその目安であり、負荷や充電状態によって変わります。
- ◆ 空欄の箇所については、公称値はありません。

T750 G5 (100V)  
UPS バッテリ持続時間目安表

モデル		T750 G5 (100V)
負荷(VA)	負荷(W)	UPS のみ
75	50	69
150	100	33
225	150	22
300	200	16
375	250	12
450	300	9
525	350	8
600	400	7
675	450	6
750	500	4

T1000 G5 (100V)  
UPS バッテリ持続時間目安表

モデル		T1000 G5 (100V)
負荷(VA)	負荷(W)	UPS のみ
100	68	62
200	136	33
300	204	21
400	272	15
500	340	12
600	408	9
700	476	8
800	544	7
900	612	6
1000	680	4

T1500 G5 (100V)  
UPS バッテリ持続時間目安表

モデル		T1500 G5 (100V)
負荷(VA)	負荷(W)	UPS のみ
120	98	83
240	196	43
360	294	25
480	392	18
600	490	14
720	588	10
840	686	8
960	784	7
1080	882	6
1200	980	4

R/T2200 G4 / G5 (100V) UPS バッテリ持続時間目安表

モデル		R/T2200 G4 / G5 (100V)				
負荷(VA)	負荷(W)	UPS のみ	+1ERM	+2ERM	+3ERM	+4ERM
150	140	80	286	491	725	898
300	280	30	122	217	311	406
450	420	17	74	135	189	255
600	560	11	52	96	133	183
750	700	8	40	74	101	142
900	840	6	32	60	81	115
1050	980	5	26	50	67	96
1200	1120	4	22	42	57	83
1350	1260	3	19	37	49	72
1500	1400	3	17	32	43	64

R/T3000 G4 / G5 (100V) UPS バッテリ持続時間目安表

モデル		R/T3000 G4 / G5 (100V)				
負荷(VA)	負荷(W)	UPS のみ	+1ERM	+2ERM	+3ERM	+4ERM
249	225	61	281	474	665	859
498	450	27	126	219	311	404
747	675	17	79	139	199	260
996	900	12	57	101	145	190
1245	1125	9	44	79	114	149
1494	1350	7	35	64	93	122
1743	1575	6	29	54	79	103
1992	1800	5	25	46	68	89
2241	2025	4	22	41	60	78
2490	2250	4	19	36	53	70

R/T3000 G4 / G5 (200V) UPS バッテリ持続時間目安表

モデル		R/T3000 G4 / G5 (200V)				
負荷(VA)	負荷(W)	UPS のみ	+1ERM	+2ERM	+3ERM	+4ERM
249	224	83	259	456	655	853
498	448	31	121	219	316	414
747	672	17	78	142	207	271
996	896	11	57	105	153	200
1245	1120	8	44	83	121	159
1494	1344	6	36	68	100	131
1743	1568	5	31	58	85	112
1992	1792	4	26	50	74	97
2241	2016	3	23	44	65	86
2490	2241	3	21	39	58	77



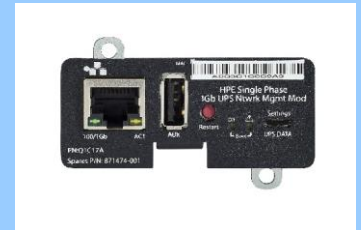
## UPS 管理ソフトウェア・ツール

### HPE Power Protector (HPEPP) :

本ソフトウェアは、HPE Power Manager (HPPM) の後継製品となります。  
HPPM が提供する主な機能に加え、管理者のニーズに合わせて、必要とする電源状況やアラーム パラメーターの情報を、メイン画面でカスタマイズできます。  
HPEPP が管理、制御する UPS ごとに、1 台の HPEPP Administrator サーバーが必要です。  
また、ひとつの HPEPP Administrator で最大 35 の HPEPP Client を管理できます。

### HPE UPS ネットワーク マネージメント モジュール (HPENMC) :

本製品は、HPE 製 UPS をネットワークに直接接続し、サーバーにインストールしたクライアント ソフトウェア (HPEPP Client) と連携することでリモートから詳細な電源環境の監視や管理を包括的に制御できます。  
HPENMC は UPS マネジメント モジュール (HPMM) の後継製品であり、UPS 管理用ソフトウェアが組み込まれているため、UPS 管理用のマネジメント サーバーは不要です。



UPS ネットワーク マネージメント  
モジュール

## UPS 製品と UPS 管理ツール・ソフトウェア対応一覧

製品	型番	UPS 管理ソフトウェア・ツール		備考
		HPEPP	HPENMC*1	
T750 G5	Q1F47A	○	○	・ Systems Insight Manager との連携、SNMP トラップ、delay reboot が必要な場合は、HPENMC を推奨します。
T1000 G5	Q1F49A	○	○	
T1500 G5	Q1F51A	○	○	
R/T2200 G5	Q1L84A	○	○	
R/T3000 G5 (100V)	Q1L85A	○	○	
R/T3000 G5 (200V)	Q1L86A	○	○	

\*1 : HPENMC の利用には、HPEPP Client を使用します。

UPS 管理ツール・ソフトウェアの機能比較一覧

機能	HPEPP	HPENMC
	管理ソフトウェア	管理モジュール(オプション)
管理対象機器	単体 UPS	単体 UPS
UPS 接続方法	USB 接続/LAN 接続/シリアル接続	LAN 接続
複数台 UPS による冗長化構成		○
メイン画面	○*カスタマイズ可	○
アラーム イベント管理	○*カレンダー ベースの表示可	○
イベント ログ ダウンロード	○	○
アプリケーション ログ ダウンロード	○	○
SNMP トラップ送信		○
SIM との連携		○
スケジュール シャットダウン/起動	○* <sup>1</sup>	○* <sup>2</sup>
遅延シャットダウン	○* 接続機器単位 (HPEPP Client 経由)	○* ロードセグメント単位、接続機器単位 (HPEPP Client 経由)
遅延リポート		○
バッテリー テスト	○* 自動	○* 自動

\*1 : HPEPP 1.02 以降で対応

\*2 : スケジュール設定は、daily または weekly となります。HPENMC では 1 分単位の設定が可能です。

**\* 各ツール・ソフトウェア毎の対応 OS については、次頁以降を参照してください。**

## HPE Power Protector (HPEPP) のシステム要件

### ◆HPE UPS ネットワーク マネージメント モジュール (HPENMC)のシステム要件は、組み合わせる HPEPP (Client) の要件に準拠します。

HPENMC ファームウェアと HPEPP (Client) のバージョンの組み合わせは以下の通りになります。

- ・ HPENMC 1.5.7 は HPEPP 2.02.089、2.02.087、2.02.081 をサポート
- ・ HPENMC 1.7.11 は HPEPP 2.02.089、2.04.094、2.05.096、2.06.098 をサポート

### ハードウェアの要件

ハードウェア	・ Admin サーバー：500MHz 以上のプロセッサ	・ Client サーバー：500MHz 以上のプロセッサ
ディスク管理	・ Admin サーバー：10MB の空き容量	・ Client サーバー：10MB の空き容量
システムメモリ	・ Admin サーバー：300MB	・ Client サーバー：300MB

### サポートする Web ブラウザー

Web ブラウザー	最新バージョン(推奨)	旧バージョン	
	2.06.098	2.05.096	2.04.094
Microsoft Edge	○	○	○
Mozilla Firefox	○	○	○
Chrome	○	○	○

### サポート OS (x86 アーキテクチャのみ抜粋)

OS	最新バージョン(推奨)	旧バージョン	
	2.06.098	2.05.096	2.04.094
<b>Windows</b>			
Windows Server 2022 Standard / DataCenter	○*1	○*1	○
Windows Server 2022 Essentials	○*1	○*1	○
Windows Server 2019 Standard / DataCenter	○*1	○*1	○*1
Windows Server 2019 Essentials	○*1	○*1	○*1
Windows Server 2016 Standard / DataCenter	○*1	○*1	○*1
Windows Server 2016 Essentials	○*1	○*1	○*1
Windows Server 2012 R2 Standard / DataCenter	○*1	○*1	○*1
Windows Server 2012 R2 Essentials / Foundation	○*1	○*1	○*1
Windows Server 2012 Standard / DataCenter	○*1	○*1	○*1
Windows Server 2012 Essentials / Foundation	○*1	○*1	○*1
Windows Server 2019 IoT	○	○	○
Windows Storage Server 2016	○	○	○
Windows Storage Server 2012 R2	○	○	○
Windows 11 Enterprise	○	○	○
Windows 11 Pro	○	○	○
Windows 11 Home		○	○
Windows 10 Enterprise	○	○	○
Windows 10 Pro	○	○	○
Windows 10 Home		○	○
Windows 8.1 Enterprise / 8.1 Professional	○	○	○

\*1：Hyper-V 機能をインストールしている場合の Hyper-V のサポートについては、次ページの Microsoft Hyper-V を参照してください。

HPE Power Protector (HPEPP) のシステム要件 つづき

サポート OS (x86 アーキテクチャのみ抜粋) つづき

OS		最新バージョン(推奨)	旧バージョン	
		2.06.098	2.05.096	2.04.094
x86 アーキテクチャ (32bit / 64bit 含む)	<b>Linux</b>			
	SUSE Linux Enterprise Server 15 SP4	○	○	
	SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2	○	○	○
	SUSE Linux Enterprise Server 15 SP1	○	○	○
	SUSE Linux Enterprise Server 15	○	○	○
	SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4	○	○	○
	SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3	○	○	○
	SUSE Linux Enterprise Server 11 SP3	○	○	○
	Red Hat Enterprise Linux 9 Update1	○		
	Red Hat Enterprise Linux 9	○		
	Red Hat Enterprise Linux 8 Update8	○		
	Red Hat Enterprise Linux 8 Update6	○	○	
	Red Hat Enterprise Linux 8 Update5	○	○	○
	Red Hat Enterprise Linux 8 Update4	○	○	○
	Red Hat Enterprise Linux 8 Update3	○	○	○
	Red Hat Enterprise Linux 8 Update2	○	○	○
	Red Hat Enterprise Linux 8 Update1	○	○	○
	Red Hat Enterprise Linux 8	○	○	○
	Red Hat Enterprise Linux 7 Update9	○	○	○
	Red Hat Enterprise Linux 7 Update8	○*2	○*2	○*2
	Red Hat Enterprise Linux 7 Update7	○	○	○
	Red Hat Enterprise Linux 7 Update6	○	○	○
	Red Hat Enterprise Linux 7 Update4		○	○
	Red Hat Enterprise Linux 7 Update3		○	○
	Red Hat Enterprise Linux 6 Update7		○	○
	Red Hat Enterprise Linux 6 Update6		○	○
	Clear OS Home 7.5	○	○	○
	Clear OS Home 7.4	○	○	○
	Clear OS Business 7.5	○	○	○
	Clear OS Business 7.4	○	○	○
	Ubuntu 20.04 LTS	○	○	○
	Ubuntu 22.04 LTS	○	○	
	<b>VMware (有償バージョンのみサポート)</b>			
	VMware vSphere ESXi 7.0*1	○*2	○*2	
	VMware vSphere ESXi 6.7*1	○*2	○*2	○*2
	VMware vSphere ESXi 6.5*1	○*2	○*2	○*2
VMware vSphere ESXi 6.0*1	○*2	○*2	○*2	
<b>Microsoft Hyper-V</b>				
Window Server 2022 (Hyper-V 機能)*3	○*2	○*2		
Window Server 2019 (Hyper-V 機能)*3	○*2	○*2	○*2	
Window Server 2016 (Hyper-V 機能)*3	○*2	○*2	○*2	
Window Server 2012 R2 (Hyper-V 機能)*3	○*2	○*2	○*2	

\*1 : アップデートには依存しません。  
 \*2 : HPEPP Client のみサポート (ホスト OS 上)  
 \*3 : Windows Server に含む Hyper-V 機能のみサポート

サポート サービス



インストール サービス

HPE インストール サービス HPE UPS 用

製品名	製品型番	税抜価格	サービス内容
インストール ハードウェア設置 標準時間 UPS <3KVA 用	U4690E	34,000 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・UPS 製品本体のインストール、および UPS と同時購入された内蔵用オプション製品の UPS への組み込み</li> <li>・UPS と同時購入された拡張ランタイムモジュールのインストール</li> <li>・UPS 製品本体とシステム製品本体間のケーブル接続*1</li> <li>・対象：UPS T750 G4 / G5、T1000 G4 / G5、T1500 G4 / G5、R/T2200 G4 / G5</li> </ul>
インストール ハードウェア設置 標準時間 UPS R3000/R5500 用	U4693E	44,000 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・UPS 製品本体のインストール、および UPS と同時購入された内蔵用オプション製品の UPS への組み込み</li> <li>・UPS と同時購入された拡張ランタイムモジュールのインストール</li> <li>・UPS 製品本体とシステム製品本体間のケーブル接続*1</li> <li>・対象：UPS R/T3000 G4 / G5</li> </ul>

\* インストール サービス受付時間：  
HPE インストール サービスを購入後、サービスを当社受付先までお申込みいただく必要があります。  
月曜～金曜/8:45～17:30(休日および年末年始を除く)  
受付時間以降のお申込み分につきましては翌営業日受付扱いとさせていただきます。  
\* 平日(月～金：8:45～17:30)以外にサービス実施を希望される場合、時間外作業料金が必要です。別途お問い合わせください。  
\* 詳細は右記 Web サイトを参照ください。 <https://www.hpe.com/jp/supportservices-inst>  
\* 1：ケーブルの敷設作業を本サービスと別途に実施いただき、本サービス実施までに完了されていることが必要です。

保証アップグレード

標準保証：

- ◆標準保証は、以下ようになります。(本システム構成図に掲載品のみ記載)  
ベーシック PDU G2：5 年間パーツ保証  
HPE 製 UPS：3 年間パーツ保証、1 年間翌営業日オンサイト サービス標準保証についての詳細は、右記 Web サイトを参照ください。  
[https://www.hpe.com/jp/support/warranty\\_server](https://www.hpe.com/jp/support/warranty_server)
- ◆修理受付時間、診断サービス提供時間、オンサイト提供時間は、月曜日～金曜日 9:00～17:00(祝祭日および年末年始を除く)となります。
- ◆緊急性の高いサポート対応をご希望の場合には、HPE 保守サービスを購入ください。

HPE Tech Care サポートサービス 一覧 (タワー型サーバー オプション用)

対象製品名	対象製品番号	対象 HPE Tech Care サポートサービス製品	
UPS	UPS T750 G5	Q1F47A	HPE 製 UPS および HPE 製 PDU は、サーバー製品本体用のハードウェア保守のサービス範囲に含まれます。
	UPS T1000 G5	Q1F49A	
	UPS T1500 G5	Q1F51A	
	UPS R/T2200 G5	Q1L84A	
	UPS R/T 3000 G5 (100V)	Q1L85A	
	UPS R/T 3000 G5 (200V)	Q1L86A	
	RT2200 拡張ランタイムモジュール	J2R09A	
	RT3000 拡張ランタイムモジュール	J2R10A	

- ◆HPE Tech Care サポートサービスは、標準保証の内容を 3~7 年間の 4 時間対応 標準時間もしくは 4 時間対応 24x7 にアップグレードします。  
 4 時間対応 標準時間：
  - ・受付/障害診断時間：月曜日～金曜日 8:45～17:30 (祝日および年末年始を除く)
  - ・オンサイト作業：17:30 までに電話を受けた案件は原則 4 時間対応
- 4 時間対応 24x7：
  - ・受付/障害診断時間：24 時間 7 日間 (年中無休)
  - ・オンサイト作業：原則 4 時間対応
- ◆本サービスの提供期間は製品本体購入日より数えて 3~7 年間となります。(製品本体購入日が保証開始日となります)
- ◆HPE 製 UPS および HPE 製 PDU および HPE 製ラックマウント型モニターは、サーバー製品本体用のハードウェア保守のサービス範囲に含まれます。
- ◆UPS のバッテリーに関しては、消耗品のため 4 年目以降 (保守契約の有無に関わらず) バッテリーが消耗/故障した場合には、バッテリーの部品代が必要となります(バッテリーのみの交換が可能な現行機種の場合)。UPS 本体交換が必要になる旧機種の場合や、詳細については以下の Web サイトを参照ください。 [http://h50146.www5.hpe.com/products/servers/proliant/options/ups\\_info\\_warranty.html](http://h50146.www5.hpe.com/products/servers/proliant/options/ups_info_warranty.html)
- ◆お客様登録申請はハードウェア製品本体購入後、速やかに完了していただく必要があります。
- ◆オンサイト サービスおよび 24 時間 7 日間オンサイト サービスのご提供地域および応答時間に関しては地理的制限等があります。  
 また、原則としてオンサイト サービスが提供できる地域は、弊社が定めております離島などサービス拠点から遠隔地への出張とならない場合のみと限らせていただきます。対応可能地域については右記 Web サイトを参照ください。 [https://www.hpe.com/jp/onsite\\_areamap](https://www.hpe.com/jp/onsite_areamap)
- ◆オンサイト対応可能地域以外のお客様は、弊社サービス拠点まで製品をお持ちいただき、修理完了後にお引取りいただくか、もしくは別途有償にてオンサイト サービスを承ります。